

# リスクと機会

保土谷化学グループは、社会の変化に応じて絶えざる革新を続け、環境調和型の生活文化を創造してきました。今後のさらなる企業価値向上に向け、保土谷化学グループにとって重要な社会課題を抽出し、リスクと機会を明確化するとともに、取り組むべき重要課題(マテリアリティ)を特定しております。

外部環境認識	リスク	リスクへの対応	機会	機会への対応	マテリアリティ
<b>地球環境</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球環境問題の不確実性は、大きな経済問題に転じている。気温上昇について複数のシナリオを想定し、<b>経営戦略としてレジリエンスを向上させることが必須</b>であると認識</li> <li>✓ COP21におけるパリ協定採択</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然災害(大型台風・地震等)により人命や設備に甚大な被害が生じ、生産停止等、生産活動に多大な影響を及ぼす</li> <li>保全コストの増大</li> <li>環境に配慮しないことにより、<b>サプライチェーンからの信頼性が低下</b>する</li> <li>国内外のレギュレーションに違反し、対応コストや罰金を支払い、経済的損失を被る</li> <li>企業としての信用が低下する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備・機器の点検および補修</li> <li>作業標準等の教育実施</li> <li>各種訓練の実施、安否確認システムの活用</li> <li>省エネルギー・環境負荷物質削減に向けた<b>環境目標の達成</b></li> <li>ISO14001の全社統合等、<b>環境マネジメントの推進</b></li> <li>レギュレーション遵守体制の構築</li> <li>海外レギュレーションの改正の定期的なチェック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動に対し<b>緩和・適応製品</b>を提供し、企業価値増大を実現する</li> <li><b>環境負荷低減</b>に寄与する製品を提供し、企業価値増大を実現する</li> <li>各国のレギュレーションに<b>適応する製品</b>を提供し、企業価値増大を実現する</li> <li>品質・安全性能の価値ある製品を提供し、企業価値増大を実現する</li> <li><b>健康維持</b>に貢献する製品を提供し、企業価値増大を実現する</li> <li><b>事業展開地域のコミュニティから信頼</b>を獲得し、事業を安定化させ、企業価値増大を実現する</li> <li>従業員の「仕事のやりがい」「働きやすさ」を向上させ、<b>組織パフォーマンス向上</b>につなげる</li> <li><b>ダイバーシティ経営</b>に適切に対応し、<b>組織能力向上</b>、企業価値増大を実現する</li> <li><b>健康経営、労働安全衛生</b>に適切に対応し、組織能力向上、企業価値増大を実現する</li> <li><b>ビジネスと人権</b>にまつわる課題に適切に対応し、企業として責任ある対応を示す</li> <li><b>モニタリングモデルに対応したコーポレートガバナンス</b>を継続推進し、企業価値増大につなげる</li> <li><b>コンプライアンスの徹底</b>、法令違反、不祥事・不備等発生未然防止を図り、企業価値増大につなげる</li> <li><b>リスク領域の損失</b>を最小化すると同時に、リスクと裏腹の関係にある<b>チャンスを発見し、事業機会・収益機会</b>につなげる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動<b>緩和・適応製品</b>の開発・販売</li> <li>水の浄化等に関するビジネスの<b>拡大</b></li> <li>各国のレギュレーションに対応する製品の<b>開発・販売</b></li> <li>品質・安全性能の価値ある製品の<b>開発・販売</b></li> <li><b>健康維持</b>に貢献する製品の<b>開発・販売</b></li> <li><b>事業展開地域のコミュニティ</b>との積極的な交流・貢献</li> <li><b>エンゲージメント向上施策</b>の継続的実施、パルスチェックにより<b>施策効果の検証</b></li> <li><b>性別、出身等</b>に関係なく<b>能力・スキルのある人材</b>の積極的な採用・登用、各人材が最大限その能力・スキルを発揮し得る環境の整備</li> <li>多様な従業員の<b>健康・増進施策</b>の実施、従業員の活力向上、生産性向上、組織活性化</li> <li>人権侵害リスクの把握・評価、改善プロセスの確立。サプライチェーンの人権侵害リスクへの留意</li> <li>取締役の<b>監督責任</b>と執行役員<b>の適切な判断・実施・説明責任</b>の役割分担による、これまで以上の<b>実効性向上</b></li> <li><b>コンプライアンス浸透</b>のための教育の継続推進、コンプライアンス違反がある場合の<b>処罰実施</b></li> <li>幅広いかつ精緻な<b>リスク認識・評価</b>、<b>リスク軽減策</b>の実行による、<b>事業機会・収益機会</b>の発見</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動への<b>対応</b></li> <li><b>大気・水・土壌環境の保全</b></li> <li><b>製品・化学物質の安全確保</b></li> <li><b>製品の価値および信頼性の向上</b></li> <li><b>健康維持への貢献</b></li> <li><b>コミュニティへの貢献</b></li> <li><b>働きがいの向上</b></li> <li><b>ダイバーシティの推進</b></li> <li><b>健康経営、労働安全衛生の推進</b></li> <li><b>人権尊重理念の実践</b></li> <li><b>コーポレートガバナンスの充実</b></li> <li><b>コンプライアンスの浸透</b></li> <li><b>リスクマネジメントの徹底</b></li> </ul>
<b>社会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会的価値の台頭にいかに対応するかは、企業経営における<b>重要課題</b>であると認識</li> <li>✓ 国連におけるSDGs採択</li> <li>✓ GPIFによるPRI署名</li> <li>✓ 経団連による「企業行動憲章」改定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>品質・安全性能の<b>低下等により社会的信用が失墜</b>する、または、事業が<b>中断</b>する</li> <li>感染症<b>拡大</b>により、経済や事業活動に<b>大きな影響</b>を受ける</li> <li>事業展開地域からの<b>信頼性の低下</b>により、事業活動が<b>継続</b>できなくなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>品質・安全性能に関わるルール<b>の教育・周知徹底</b>・<b>チェック機能の強化</b></li> <li>調達先の<b>複数化</b></li> <li>感染症<b>防止対策</b>の運用徹底</li> <li>事業展開地域の<b>持続的発展</b>へ貢献する活動の<b>継続・強化</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>品質・安全性能の価値ある製品を提供し、企業価値増大を実現する</li> <li><b>健康維持</b>に貢献する製品を提供し、企業価値増大を実現する</li> <li><b>事業展開地域のコミュニティから信頼</b>を獲得し、事業を安定化させ、企業価値増大を実現する</li> <li>従業員の「仕事のやりがい」「働きやすさ」を向上させ、<b>組織パフォーマンス向上</b>につなげる</li> <li><b>ダイバーシティ経営</b>に適切に対応し、<b>組織能力向上</b>、企業価値増大を実現する</li> <li><b>健康経営、労働安全衛生</b>に適切に対応し、組織能力向上、企業価値増大を実現する</li> <li><b>ビジネスと人権</b>にまつわる課題に適切に対応し、企業として責任ある対応を示す</li> <li><b>モニタリングモデルに対応したコーポレートガバナンス</b>を継続推進し、企業価値増大につなげる</li> <li><b>コンプライアンスの徹底</b>、法令違反、不祥事・不備等発生未然防止を図り、企業価値増大につなげる</li> <li><b>リスク領域の損失</b>を最小化すると同時に、リスクと裏腹の関係にある<b>チャンスを発見し、事業機会・収益機会</b>につなげる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品の<b>価値および信頼性の向上</b></li> <li><b>健康維持への貢献</b></li> <li><b>コミュニティへの貢献</b></li> <li><b>働きがいの向上</b></li> <li><b>ダイバーシティの推進</b></li> <li><b>健康経営、労働安全衛生の推進</b></li> <li><b>人権尊重理念の実践</b></li> <li><b>コーポレートガバナンスの充実</b></li> <li><b>コンプライアンスの浸透</b></li> <li><b>リスクマネジメントの徹底</b></li> </ul>	
<b>人(会社と組織)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業と人材を取り巻く大きな環境変化に適切に対応し、<b>継続的に組織能力の向上を図る</b>ことが重要課題であると認識</li> <li>✓ 先進国の少子高齢化、生産年齢人口減少</li> <li>✓ 女性の社会進出、<b>ダイバーシティの高まり</b></li> <li>✓ 足元の<b>新型コロナウイルス感染症対策</b>等、健康に対する関心のいっそうの増大</li> <li>✓ 労働安全衛生マネジメントシステムへの<b>要求継続</b></li> <li>✓ <b>ライフスタイルの多様化</b></li> <li>✓ <b>人権の尊重と公正な労働慣行</b>のいっそうの高まり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員の「仕事のやりがい」「働きやすさ」の<b>低下</b>が<b>組織パフォーマンス低下</b>に直結する</li> <li><b>ダイバーシティ経営</b>を推進できず、<b>組織能力向上</b>、<b>企業価値増大</b>を果たせない</li> <li><b>健康経営、労働安全衛生</b>を推進できず、<b>組織能力向上</b>、<b>企業価値増大</b>を果たせない</li> <li><b>ビジネスと人権</b>にまつわる課題に関心を払わないことにより、<b>訴訟・行政罰</b>を受ける、<b>レピュテーションを悪化</b>させる、<b>人材流出</b>を招く等のおそれが<b>増大</b>する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>エンゲージメント</b>の<b>パルスチェック</b>による<b>エンゲージメント向上施策の企画・実施</b></li> <li><b>能力重視・スキル重視</b>の人材活用</li> <li>従業員が<b>健康・安全</b>に活躍できる<b>環境の整備</b></li> <li><b>ビジネスと人権</b>にまつわる課題の<b>把握と適正な対応</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員の「仕事のやりがい」「働きやすさ」を向上させ、<b>組織パフォーマンス向上</b>につなげる</li> <li><b>ダイバーシティ経営</b>に適切に対応し、<b>組織能力向上</b>、企業価値増大を実現する</li> <li><b>健康経営、労働安全衛生</b>に適切に対応し、組織能力向上、企業価値増大を実現する</li> <li><b>ビジネスと人権</b>にまつわる課題に適切に対応し、企業として責任ある対応を示す</li> <li><b>モニタリングモデルに対応したコーポレートガバナンス</b>を継続推進し、企業価値増大につなげる</li> <li><b>コンプライアンスの徹底</b>、法令違反、不祥事・不備等発生未然防止を図り、企業価値増大につなげる</li> <li><b>リスク領域の損失</b>を最小化すると同時に、リスクと裏腹の関係にある<b>チャンスを発見し、事業機会・収益機会</b>につなげる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>働きがいの向上</b></li> <li><b>ダイバーシティの推進</b></li> <li><b>健康経営、労働安全衛生の推進</b></li> <li><b>人権尊重理念の実践</b></li> <li><b>コーポレートガバナンスの充実</b></li> <li><b>コンプライアンスの浸透</b></li> <li><b>リスクマネジメントの徹底</b></li> </ul>	
<b>ガバナンス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業における<b>コーポレートガバナンス機能、コンプライアンス機能、リスクマネジメント機能の強化</b>を<b>継続的に図る</b>ことが重要課題であると認識</li> <li>✓ <b>コーポレートガバナンスコード</b>の2021年改定</li> <li>✓ <b>上場企業</b>における<b>品質不正問題</b>や<b>内部統制</b>上の重要な<b>不備</b>の発生継続</li> <li>✓ <b>パンデミックリスク</b>、<b>ディザスターリスク</b>の顕現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>コーポレートガバナンスの高度化</b>に対し<b>迅速かつ機動的</b>に対応できず、<b>中期的に企業価値</b>を<b>棄損</b>する</li> <li><b>法令違反、不祥事</b>等の発生により、<b>大きな損失</b>が生じたり、場合によっては<b>企業継続</b>に<b>支障</b>が生じる</li> <li><b>リスク認識・評価</b>が<b>不十分</b>なため、<b>適切なリスク軽減策</b>が打てず、<b>大きな損失</b>が生じたり、場合によっては<b>企業継続</b>に<b>支障</b>が生じる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>プライム企業</b>(2022年4月予定)として、<b>ガバナンスの向上・充実</b></li> <li><b>コンプライアンス徹底</b>による、<b>法令違反、不祥事・不備等</b>の未然防止</li> <li>幅広いかつ<b>精緻なリスク認識・評価</b>による、<b>適切なリスク軽減策</b>の実行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>モニタリングモデルに対応したコーポレートガバナンス</b>を継続推進し、企業価値増大につなげる</li> <li><b>コンプライアンスの徹底</b>、法令違反、不祥事・不備等発生未然防止を図り、企業価値増大につなげる</li> <li><b>リスク領域の損失</b>を最小化すると同時に、リスクと裏腹の関係にある<b>チャンスを発見し、事業機会・収益機会</b>につなげる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取締役の<b>監督責任</b>と執行役員<b>の適切な判断・実施・説明責任</b>の役割分担による、これまで以上の<b>実効性向上</b></li> <li><b>コンプライアンス浸透</b>のための教育の継続推進、コンプライアンス違反がある場合の<b>処罰実施</b></li> <li>幅広いかつ<b>精緻なリスク認識・評価</b>、<b>リスク軽減策</b>の実行による、<b>事業機会・収益機会</b>の発見</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>コーポレートガバナンスの充実</b></li> <li><b>コンプライアンスの浸透</b></li> <li><b>リスクマネジメントの徹底</b></li> </ul>